

- ◆企画名 ほっこり通信—2013年度版—  
 日程 平成25年4月1日(月)～平成26年3月31日(月)  
 場所 総合学生会館凜風館内などの『ほっこり相談室』ポスター掲示場所  
 参加者数 21名(ピア・サポーター)  
 目的

KU サポーターズの活動は、『ほっこり相談室』など、外部からみえにくいものが多い。そのため一般学生に向けてピア・サポート事業をする際に、学生がそれを主催する団体を知らないために、利用することに抵抗感をもつということが考えられる。

本事業は一般学生にみえやすい働きかけとして、掲示を行うものだ。またこの掲示物を通して、「KU サポーターズ」という団体の存在と、活動のキーワードでもある「ほっこり」を感じてもらうことで、一般学生が抱く抵抗感を和らげることを目的とする。

### 内容

KU サポーターズの活動や雰囲気を伝えるものとして、季節に合わせた通信を作成、掲示する。担当は毎回交代するため、担当者の決定および内容によって大きさなども変更できるものとする。一般学生の印象に残るよう、アイキャッチ性の高いものを意識する。

### 感想

vol.1 は、温かみのあるものを提供するという目的のために手書きにこだわった。書き直しや紙面のアレンジに時間と手間がかかり、vol.2 への着手が遅れた。

vol.2 は、vol.1 とは異なり、写真や記事を多く用い、内容はピア・コミュニティの活動に特化した。事前に用意していた記事を利用したことで、vol.1 より早く発行できた。掲示時期は重要であるため、作成から発行までの時間が短かったのは良かった。

vol.3 は、大学内での「ほっと一息つける場所」をテーマとした。新入生などに、大学生生活を充実させる為に、参考にいただければ嬉しいと思う。

一貫して「KU サポーターズの雰囲気を伝える」という主旨には忠実に作成できた。

### 改善点

vol.1 の経験から、手書きで寄せ書きのように作成する場合は更なる工夫が必要だろう。定期発行を重視するのであれば、年度のはじめに各回の担当者を割振っておくべきだ。掲示する時期と同時に、作成開始の時期も計画しておきたい。

また、内容は担当に一任していたが、掲示を見る学生にとって、継続して発行しているものだと分かりにくくは「KU サポーターズの存在とその雰囲気を知ってもらう」という目的に対し効果が低い。ある程度の枠組みを設けておくこと発行物として統一感が出ると考える。

本事業は「ほっこり相談室」外の掲示であるため、KU サポーターズの認知度を上げることにもつながる可能性がある。特に「ほっこり通信」という題目は「ほっこり相談室」を連想させる効果が期待できるため、継続して使用したい。これまで行ってきたものとは傾向の異なる活動であるが、KU サポーターズと一般学生との距離を近づけ、他の事業の手助けとなるものにできたらと思う。



vol.1



vol.2



vol.3